

会長挨拶

浦和稲門会々長 柏 茲



浦和稲門会会報

No.9

平成23年4月
 発行人
 浦和稲門会
 事務局 金子裕司
 TEL (861) 3445
 FAX 330-0065
 さいたま市浦和区
 神明 2-13-10

平成23年(2011)辛卯(かのとう)新年おめでとうございます。
 母校早稲田大学は、1882(M15).10.21・東京専門学校として開校、2007年10月創立125周年を迎え“WasedaNext125”に入っています。早稲田第1回卒業生を輩出した翌1885(M18)に校友会が発足し、母校に続き2010年1月から本年3月迄は校友会125周年年度にあたります。この周年度にあたり、スポーツでは各部の活発な活動が報じられていますが、特筆は熱闘の末に秋の早慶戦を制し優勝した野球部に続き、正月2,3日の箱根駅伝では、競争部が往路の27秒差準優勝から復路ですぐ逆転、大会記録で優勝し出雲、全日本大学に次いで3大駅伝大会制覇の快挙を成しとげました。残念なのは、ラグビーで第47回全国大学選手権では準優勝で明大に大勝しながら決勝は関東対抗戦で勝って優勝した帝京にワントライ届かず16回目の優勝を逃しました。そして就任早々の第16代鎌田 薫 新総長を迎え11月13日上尾稲門会ホストの県支部大会に、当会より12名出席いただき、第14代奥島総長と大学への期待の熱弁がありました。今年は11月に深谷で行われます。

浦和稲門会では恒例の浦和東京6大学ゴルフ大会では惜しくも準優勝でしたが、今回108名参加の大会にまで発展してきた会を提唱され、ご尽力を続けておられる吉田部会長に改めて敬意を表します。麻雀部会は隔月に開催され、早慶戦も行われ盛況で、ゴルフ同様6大学麻雀大会が金子部会長の目標のようです。旅行部会は、春に金子 努会員のご案内により角館・秋田男鹿方面へ、秋には裏磐梯高原ホテルに宿泊し裏磐梯会津若松の旅が行われました。会津若松出身で案内役の山中健二郎会員が旅行3日後の10月28日に心筋梗塞で急逝されました。山中様はS36商卒後、金融機関に勤務された由にて当会の会計を担当いただいております。享年72才 早すぎる別れで誠に残念なことですが、当会へのご尽力に感謝いたし皆様とご冥福をお祈りしたいと思います。今年もご理解ご協力をお願い致します。

マラソン

・自己最高記録・・・2時間08分27秒(1986年10月26日)

年月	大会名	タイム	順位	備考
1977 .02	京都マラソン	2:26 :00	10位	新人賞獲得
1977 .12	福岡国際マラソン	2:15 :01	5位	日本人最上位
1978 .12	福岡国際マラソン	2:10 :21	優勝	当時世界歴代10位、 当時日本学生最高記録
1979 .04	ボストンマラソン	2:10 :12	2位	当時世界歴代9位、 当時日本学生最高記録
1979 .12	福岡国際マラソン	2:10 :35	優勝	モスクワ五輪代表権獲得、 福岡日本人初の2連覇
1980 .12	福岡国際マラソン	2:09 :45	優勝	当時世界歴代8位、 福岡日本人初の3連覇
1981 .04	ボストンマラソン	2:09 :26	優勝	当時世界歴代5位、 当時大会記録
1983 .02	東京国際マラソン	2:08 :38	優勝	当時日本最高記録、当時世界 歴代3位、当時大会記録
1983 .12	福岡国際マラソン	2:08 :52	優勝	ロサンゼルス五輪代表権獲得、当時世界 歴代6位相当、福岡日本人初の4回制覇
1984 .08	ロサンゼルスオリン ピック男子マラソン	2:14 :13	14位	
1986 .04	ロンドンマラソン	2:10 :02	優勝	ロンドン日本人初の優勝
1986 .10	シカゴマラソン	2:08 :27	優勝	自己最高記録、当時世界歴代10位、 シカゴ日本人初の優勝
1987 .04	ボストンマラソン	2:11 :50	優勝	ボストン日本人初の複数回制覇
1988 .03	びわ湖毎日マラソン	2:12 :41	優勝	ソウル五輪代表権獲得、 日本3大マラソン制覇
1988 .10	ソウルオリンピック 男子マラソン	2:13 :41	9位	

浦和稲門会 総会のご案内

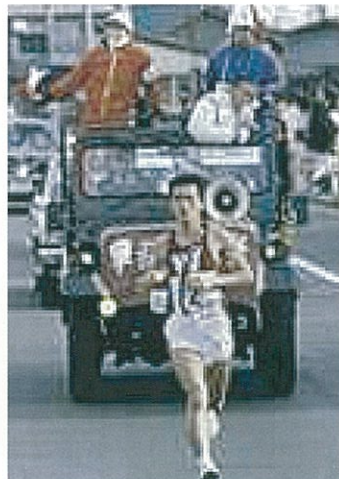
平成23年5月28日(土) 会場 浦和ワシントンホテル3F
 プリムローズに於いて 受付開始 16:30 開式・17:00
 会員の皆様、是非とも大勢お集まり下さい。

* 講演 瀬古利彦氏
 1956年7月15日生(54才)
 三重県桑名市出身
 早稲田大学教育学部卒
 (現) SB食品
 スポーツ推進局局長
 (日本陸連理事)
 マラソン戦績 15戦10勝



瀬古利彦氏

* 当校の朋友でマラソン界の雄としてご活躍しておられる瀬古利彦氏にご講演をお願い致しました。早稲田が本年も箱根駅伝で連覇出来るか面白く興味ある講演になるかと思っております。是非多勢ご参集下さる様お願い致します。この度の講演に際し、当会々員の渡部巖夫氏にご尽力を頂きました。



平成22年度 事業報告

平成22年

幹事長 金子裕司



- 4月17日(土) 第15回 麻雀大会 10名参加
- 4月23日(金) 平成21年度会計監査 5名出席
- 4月25日(日)~27日(火) 第三回旅行部会春季旅行会
秋田角館・男鹿半島方面 10名参加
- 5月6日(木) 校友会埼玉県支部大会 柏会長、金子幹事長
(川口リリア14F銀座アスター)
- 5月22日(土) 浦和稲門会定期総会・懇親会 浦和ワソントンホテル58名出席
ご来賓：早稲田大学学生部調査役 兼 奨学課長 斎藤 鉄生 様
- 6月12日(土) 第1回役員会幹事会14名参加(よし寿司)定期総会・
専門部会報告他
- 6月19日(金)~24日(土) 浦和稲門会有志 一泊ゴルフ
望月カントリークラブ 13名参加
- 8月21日(土) 第17回 麻雀大会 14名参加
- 9月11日(土) 第2回 役員幹事会(割烹千代田)
埼玉県支部・稲門祭他 14名参加
- 9月5日(水) 第34回 浦和稲門会定例ゴルフコンペ
河口湖カントリー 17名参加

- 9月17日(土) 秋季代議員会 金子幹事長、若井幹事、金子努幹事
大隈講堂 3名参加
- 10月13日(水) 東京六大学ゴルフコンペ(大宮国際カントリークラブ)21名参加
- 10月16日(土) 第18回麻雀大会 9名参加
- 10月17日(日) 校友会125周年記念式典・稲門祭
柏会長、金子幹事長、秋本副幹事長 出席
- 11月6日(土) 第3回役員幹事会(割烹千代田)
平成23年新年会骨子・稲門祭報告 15名出席
- 11月13日(土) 早稲田大学校友会県支部大会
柏会長、辻村副会長、以下会員 8名参加
- 11月14日(日) 大宮稲門会定期総会・懇親会 柏会長出席(大宮清水園)
- 12月2日(水) 第35回浦和稲門会ゴルフコンペ 27名参加
プレー終了後 割烹千代田にて忘年会
- 12月19日(土) 第19回 麻雀大会 9名参加
平成23年
- 1月15日(土) 浦和稲門会新年懇親会 浦和パインズホテル 55名出席
- 2月19日(土) 第20回 麻雀大会 11名参加
- 3月5日(土) 春季代議員会 金子幹事長、若井幹事、
金子努幹事、小滝幹事(大隈講堂)
- 3月12日(土) 第4回役員幹事会 新年懇親会収支報告
・平成23年定期総会骨子(よし寿司) 16名出席
- 3月30日(水) 第36回浦和稲門会ゴルフコンペ 東日本大震災の為中止

22年 総会 出席者



23年 新年会 出席者



余興 バイオリン漫談
マグナム小林氏



早稲田大学 応援団員

東京
オリンピック



佐々木 憲英氏

一月半ばすぎになると毎年のことだが、所属するゴルフクラブに年会費を払込む。その折、頭をよぎるには、一向に上がらない腕とゴルフ暦の長さである。四年前ラクナ脳梗塞を発症させ、その後左手足に軽い症状が残ってはいるが、それはそれで、「当初からへボであったな」と、近頃は自認している。ゴルフを始めてからかれこれ五十年近くにもなる。(正確には四十七年経った) 忘れもしないあの日、昭和 39 年 10 月 10 日は初めてコースに出た日である。その日が東京オリンピック開催日であった。当日は前日までの雨も上がり抜けるような青空で、正に天佑神助と誰しも思ったはずだ。コースは浮間ゴルフ場である。ハーフラウンドを廻り昼食をとっていた時、テレビは各国の入場行進の中継で、大歓声とスタジアムの興奮が伝わってくる。丁度、画面はアフリカから参加した選手団を映していた。国名の記憶はないが、たった 3 名の参加であった。旗手を務める選手はかの国の国旗を掲げゆったりとした民族衣装のたもとを風にまかせ、頭を上げ行進する姿を観たとき一瞬胸が詰まった。その後、数年経って小山 CC の会員となりハンディキャップが決まった、H24 の葉書が届いた。オリンピックも回を重ねるごとに、参加国も増え国家の威信をかけたものになってきたが、あの若々しく希望に満ちた姿をした君は今どうしている。あれからこの 50 年日本も、僕も時代の風を肩に受け走り続けてきました。今は進みあぐねている日本ですが、少しずつ進む道も見えてきました。ゴルフの腕はあの時分より下降していますが、誘いがあればコースの風を肩に受けティオフをする気力は持ち続けています。

「頑張れニッポン」「頑張れ僕のゴルフ」 1960 年 (S35 年商学部卒) 佐々木 憲英

サラリーマン
だった私



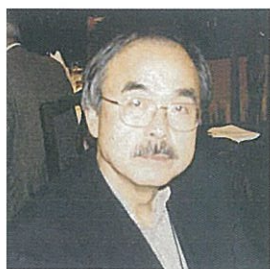
若井 誠治氏

男子の平均寿命約 80 年の内 70 年が来ようとしている。あと 10 年どう過ごすか。ある断面から見ると人生は 4 等分出来ると考えられる。生まれてから大卒までの 22 年間。サラリーマン時代の 40 年間。前半 20 年間、後半 20 年。リタイア後の 20 年。これで 4 等分。親がかりで好き勝手ことをして、自分の好みの人とのみ付き合った時期。サラリーマンになり 40 年間通して求められたこと、それは会社の枠には決にはまった人間になること。「会社の常識」は「社会の非常識」に慣れること、いやな人とも付き合うこと。前半の 20 年、人を求めて社内を積極的に動き回った時代、後半の 20 年、年相応になりそれなりの者になる人が寄って来て自分では新に心遣いをする必要が少なくなったこと。そして完全に会社人間に変化。リタイア到来。会社型がしみついて性格まで変わった自分が社会に通用するのが試される時間がスタート。しかし人が寄って来ることに慣れてしまった者、リタイア後もこの考えが捨てきれない。20 才台前半の気持ちをもう一度取り戻し積極的に人に接することを心がけ約 10 年。学び舎を同じにした方々に受け入れていただき、自分の幅が少しは広がっていくことが分かりかけて来た昨今。

これからもより多くの人達とのきずなを求め続けるとの思いが益々強くなっている。

1965 年 (S40 年一商学部卒) 若井 誠治

浦和・URAWA
への思い



宮入 一芳氏

私は信州・松本に生まれ、高校卒業までの 18 年を過ごし、現在も松本の実家には両親が暮らしており、松本は私にとっては心の故郷です。そして、昭和 46 年早稲田大学に入学し、西武新宿線の荒井薬師前から 4 年間、学校に通いましたが、個人的にはそれなりに充実した学生生活を送ることができました。昭和 50 年に早稲田を卒業し、鉄鋼会社に入社し、現在も関連会社に勤務していますが、縁あって、昭和 57 年から南浦和の住人となり早いもので 30 年が経ちました。今は浦和が私の故郷です。仕事の関係で大阪、福岡、神戸と単身赴任を繰り返しましたが、自宅と家族はずっと浦和に置いたままで、浦和に帰省する事は忙しい会社生活の中でのやすらぎでした。合計 3 回通算 10 年の単身赴任を終え、名実ともに浦和に戻った時偶然「浦和ゴルフクラブ」でコンペをしている浦和稲門会と出会いました。以降、7,8 年になりますが、ゴルフ部会を中心に、麻雀部会等にもお世話になっています。私は「浦和」の街にこよなく深い愛着を持っています。今でも「住まいは？」と聞かれば「さいたま市です」と答えています。浦和への愛着は「浦和レッズ」とも深い関係があります。友人や家内とレッズの応援にはほとんどの試合に駆けつけており、応援の時の「URAWA」の叫びは何とも言えない快感です。そろそろ、一線を退く年頃になり、この会への参加がありがたく思えるようになってきました。今後はできる限り、各部会へも参加し、「浦和」を満喫したいと思います。長男も早稲田の出身で、今は地方勤務をしていますが、

いつか、孫を連れて浦和に戻ってきて私と一緒に浦和稲門会に参加できる日が来るのを楽しみにしています。

1975 年 (S50 年政治経済学部卒) 宮入 一芳

新たな出会い と経験



佐藤 齊 氏

早稲田大学に昭和41年に当時の第1法学部に入学した。兄が慶応大学に在学中、妹も短大在学中でしたので、親は随分金銭面で大変だったと思う。然しながら秋の神宮の早慶戦で私が1年生、兄が4年生の神宮球場のバックネット裏の真ん中に母親を座らせ早稲田側に私、慶応側に兄と応援合戦を繰り広げ、母親がうれしそうに見ていたのを今でも覚えています。学費値上げ反対運動の中での入学式に始まり、その後の4年間も学生運動の盛んな時期であり、デモや立看板や機動隊など、学業に励むでもなく落ち着かない日々を過ごしました。卒業後は仕事中心で学生時代の友人たちとも会う機会もなく、卒業25年目のホームカミングデーを契機に、第2外国語のスペイン語クラスの友人達とも再会し、今では気の合った友人たちとゴルフ会、飲み会旅行などを楽しんでおります。会社を定年退職した時、自分の今後の人生をどう過ごすかが問題でした。取りあえず宅建の資格を生かして気楽に不動産関連の仕事を始め、今では先輩の野島さんから誘われたロータリークラブや、稲門会を楽しむ事で世間との関わりが深まり国内外へも旅行する機会も増えました。新しい出会いと新たな経験で「自分は人に生かされている」と感じる事が多々あります。今後には人生を人と多く関わり合い笑って脳を活性化させ先へ進みたいと思います。ゴルフには欲をもってまた「都の西北」を大声で歌える事に感謝して。1970年（S45年第一法学部卒）佐藤 齊

ゴルフ人生 シーズン2突入



宮坂 秀樹 氏

「これ書いて出しておけ」平成16年秋、勤務している司法書士事務所の所長に言われた。見ると渋谷区のゴルフ教室の申込書。うちの事務所の取引先はゴルフが盛んでお前は事務所を継ぐのだからできないとダメだということらしい。こうしてクラブ等何も持たず私のゴルフ人生は始まった。ゴルフ教室で一応のスイングを習いアイアンセットと靴、バックを購入し近所の練習場で練習。半年後コースデビューしたがスコアは155くらい。その後月1~2回コースに出ていたがスコアは110前後で横ばい状態。最初の頃は週2,3回は練習していたが、なかなかうまくならず、それでも同伴者に迷惑をかけるほどではないので練習もサボりがちになっていた。一昨年千葉の平川カントリーというゴルフ場のメンバーになったが一人で他メンバーとラウンドしたのは1回だけ。家族、友達、稲門会のゴルフ部会、取引先等知っている人とだけ回り楽しいけれど上達もしなかった。このままではダメだと昨年11月くらいに近所のホームセンターで人工芝を買って来て、空いている6畳間に敷いてアプローチ練習場を作った。また以前その部屋でアイアンの素振りをしていたらダブって畳が剥げたので子供用アイアンに錘をつけて素振りをすることにした。その効果か12月に6回ラウンドした平均は100くらい。直近に行った鳩山でもミドルで8とかロングで9がありながら99。これくらいなら一人で参加しても平気な気がしてきた。昨年まではゴルフ人生の誕生期のシーズン1で今年からは成長期のシーズン2にしたい。宮坂 秀樹

《山中健二郎君について》



細川 寿夫 氏

天は全てに平等であると教わったが同級生の山中健二郎君の突然死に関しては疑問をいだかざるを得ない。彼との交流は自分が18才で早稲田の商学部入学以来なのでもう50数年になる。彼は銀行勤務という職業柄の精かもしれないが彼程全ての事に関して性格が生真面目な人間はいないと思う。浦和稲門会会員増強との事もあるので入会を勧めたら、住居が大宮であるにもかかわらず快く入会してくれた。稲門会では早速小林先輩の後を引き継ぎ経理を担当してくれたものでより会う機会も増え役員会後も私の家内も一緒に二次会をして旧交を暖めた。もう4,5年前になるかも知れないが稲門会のゴルフコンペ(浦和GC)で彼の打ったボールが木に当り跳ね返って彼の額に直撃し大きなコブが出来てプレーを中止しなければならなかったにもかかわらず全員がプレー終了する迄クラブハウスで待っていた事でも彼の真直さを再認識したものだ。昨年の秋の旅行部会はその故郷である会津の裏磐梯に決まるとすぐ三回も下見に行く等、彼の用意周到さとその気配りの良さには感心させられた。彼の御蔭で皆観光、温泉、食事、囲碁(彼が優勝)等楽しむ事が出来彼に感謝・感激ばかりであった。その三日後に突然他界するとは誰も信じられなくてショックも大きく、人生のはかなさを強く感じ又本当に残念で仕方がなかった。後日彼の奥様の話では、浦和稲門会に入会し皆様と親しく交流出来た事、会津の裏磐梯温泉旅行を会員の皆様が楽しんでくれた事で大変喜んでいましたと聞き、ショックの反面一寸の安らぎを感じた事でした。稲門会ではもっともっと活躍し一緒に楽しんでもらいたかった。

ここに彼の一面を紹介し彼の御冥福を祈りたいと思います。 綱川 寿夫

ゴルフ部会



吉田 俊夫氏

22年度も33回(小山)・34回(河口湖)・35回(大宮ゴルフ)と各地名門コースにて行い、腕の善し悪しは別にして楽しき交流ができることです。

当会の良さは結束力が堅いことです。部会員40名の内、定例会には常時半数以上の方の出席を頂き、大いに私のモットーである「楽しもう!!」を合言葉に和気藹々の内にプレーできることが最高ではないかと思っております。

残念なのは年一度行われる「さいたま市東京六大学校友会コンペ」における団体戦において浦和立教会に優勝をさらわれ、常時2位に甘んじておることです。当部会の上級者はプレー技術において浦和六大学校友会随一と私は自負しておりますが、私のモットーの「楽しもう!!」を率先垂範してくださっているのではないのでしょうか、今年こそ会員の奮起を願い優勝できることを祈願致しております。昨年末には7名の参加者を得、今後益々部会員の協力の元、浦和稲門会の中核として会員皆様と共に校歌である「都の西北」を声高らかに歌っていきたくと存じます。

部会長 吉田俊夫



小山カントリークラブに於いて



ゴルフ部会 忘年会



河口湖カントリークラブに於いて

麻雀部会



金子 努氏

麻雀のことわざ

麻雀部会は、偶数月の第3土曜日の11:00から、会費制で高砂にある雀荘スターにて定例会を開催しております。先月は、慶応大学三田会との対抗戦でした。2連勝中でしたが、残念ながら我稲門会に運が味方致しませず完敗致しました。とはいっても、この早慶戦いたく和やかでして、楽しい時間を過ごさせていただきました。次回は、早稲田大学の麻雀力を発揮して、慶応三田会に雪辱するべく部会員一同頑張りたい。さて、麻雀には下記のようなことわざ(意欲的なもの含む)があります。是非部会にご参加いただき、ことわざどおりできませんが、ゲームと談話を楽しんでいただきたいと尾見ます。

部会長 金子 努



雀荘 スターに於いて

記

親の連荘、南家の責任
北家の1鳴、親孝行
早いリーチは1.4ソウ
単騎は西で待て
テンパイの1000点欲しさに大暴押
南カンに上がりなし
好牌先打
手を見ず場を見よ
人の嫌がる3面張
兄弟即和
親の1鳴き、子の2鳴き
南家の早上がり
南白憑きもの、東發憑きもの
前門のドラ、後門の親リーチ
一寸の虫にも五分のタテチン
壁に畏あり、トイトイ目あり
2.5.8は鳴くな、4.6を鳴け
7.5捨ててに3.6の落とし穴
序盤の裏スジ、中盤のまたぎスジ

親の連荘させないよう南家は工夫する
親にツモの機会を増やすな
統計的に根拠なし
要らない輝の代表的な輝
ハイテイ近くに、高い手ふる
これも根拠なし
使い勝手の良い牌は、相手にも良い
相手があつてのゲーム
変則的な待ち
安い手でも見逃さず当たること
親は安くても連荘、子は少しでも高く
統計的な根拠なし
同上
危険な局面
ついていない相手も侮るな
トイトイにスジを通じない
序盤に4.6は鳴く意味はある
7.5捨てては3.6のスジに注意
例えば5を捨てた場合、1.4・6.9
待ちに注意



早慶 麻雀大会 開催

旅行部会



細田 拓氏



秋田 旅行 一行



裏磐梯高原ホテルにて

昨年は春と秋 2 回の旅行を行いました。

春は 4 月 25 日（日）より 2 泊 3 日で、校友金子努さんの故郷秋田への旅、12 名の参加でした。1 日目はまず角館へ。残念ながら天候不順の影響で期待した枝垂れ桜はまだつぼみ状態でしたが、武家屋敷散策、そして桧内川土堤のソメイヨシノを見て楽しみました。夕方秋田市内に入り、千秋公園へ、ここも桜は 3 分咲き程度で少々残念でしたが、その夜は秋田稲門会の方々 8 名と交流会、初めてお会いする人ばかりでしたが、同窓ということで色々話が弾み、人と人の繋がりに色々ご縁を感じました。2 日目はレンタカーで男鹿半島へ。金子努さんのドライバー兼ガイドで、寒風山、入道崎、真山神社等を観光。男鹿温泉、男鹿グランドホテルでの旅の疲れを癒し、楽しい宴で思い出に残る一日でした。翌日はなまはげ館、伝承館、奈良家（豪農）等を見物して、皆無事に帰宅の途に着きました。秋は 10 月 24 日から 1 泊で校友山中健二郎さんの故郷、会津若松地方への旅行でした。24 日は 11 時頃猪苗代駅に着き、そば処で有名な「ラ・ネージュ」へ直行、閉店前 30 分ほど待つのでの昼食、待っただけあって「やさい天ざる」が美味しく感じられました。野口記念館等を見学した後、ホテルのバスで裏磐梯五色沼入口へ。そこからホテルまで約一時間紅葉を楽しみながらの森林浴。宿は裏磐梯高原ホテル。遅れて来られた綱川夫人を交えて総勢 13 名での宴は部屋に戻ってから夜遅くまで続けました。翌日は磐梯ゴールドライン経由で会津若松へ。途中立ち寄った写真撮影スポットでの紅葉は日に焼きつく程素晴らしいものでした。会津若松へ入り、飯森山見物後、立派な庭園のある割烹料亭「萬花桜」で昼食。酒蔵「宮泉」を見学、きき酒でほろ酔いになりながら各種薬草が植えてある立派な園庭「御薬園（おんやくえん）」を見学した後、会津若松駅から帰宅の途に着きました。色々楽しい思い出を残した旅でしたが、その 3 日後の 10 月 28 日に今回の旅行で大変お世話になった山中健二郎さんが急逝されました。旅の疲れもあったのではないかと思います、大変つらい思い出になりました。改めて山中さんのご冥福をお祈りいたします。

部会長 細田 拓

新人紹介



望月 俊明さん



山田 洋さん



野並 伸行さん



大野 さやか さん



校歌
「都の西北」
斉唱



◆鎌田薫 法学学術院教授 11月5日 早稲田大学第16代総長 就任



白井克彦前総長任期満了(11月4日)に伴い、鎌田薫(かまた・かおる)法学学術院教授が第16代総長に就任。任期は、2010年11月5日から2014年11月4日までです。

○略歴等 1948年1月18日生まれ(62歳)。1970年早稲田大学法学部卒業、1972年法学研究科修士課程修了、1975年法学研究科博士課程単位取得退学。1983年早稲田大学法学部教授、2004年法務研究科教授。2005年4月より法務研究科研究科長。2009年11月より法制審議会民法(債権関係)部会長。【URL】<http://www.waseda.jp/jp/news10/100615.html>

駅伝三冠達成！出雲14年ぶり＆伊勢15年ぶり＆箱根18年ぶり (競走部)

10月11日、第22回出雲全日本大学選抜駅伝で4人区間賞、終始首位で襷をつなぎ、2時間10分05秒の大会新記録で優勝。また、11月7日、名古屋と伊勢をつなぐ全日本大学駅伝(8区106.8km)も5時間13分02秒の大会新記録で、15年ぶりに優勝しました。新年の箱根駅伝では、東洋大の猛追をかわし駅伝主将の中島賢士君がゴール(写真:提供・早稲田スポーツ新聞会 <http://www.wasedasports.com/>)。10時間59分51秒の大会新記録で18年ぶりに総合優勝を果たし、史上3校目の大学駅伝三冠を達成しました。



東京六大学野球秋のリーグ戦 42回目の優勝 & 明治神宮大会悲願の初優勝 (野球部)



11月3日、伝説の早慶六連戦以来50年ぶりとなる慶応義塾大学との優勝決定戦が行われ、本学が勝利、4季ぶりに優勝しました。先発・斎藤佑樹投手(教4年)が打線の援護を受け7回まで好投。8回の反撃も大石達也投手(専4年)が見事に抑え、歓喜の瞬間を迎えました。また、11月18日には明治神宮大会決勝で東海大学を破り、悲願の初優勝を遂げました。

各種ランキング

●2010 QS 世界大学ランキング 500

日本は、100位以内に5つの国立大学(昨年6大学)がランクインしています。ランキングの指標の1つに、教員/学生比率があり、私立大学に比べて国立大学が優位となる傾向があります。

	大学名	国名
1	ケンブリッジ大学	英国
2	ハーバード大学	米国
3	イエール大学	米国
24	東京大学	日本
182	早稲田大学	日本
206	慶應義塾大学	日本

●2010 国家公務員 I 種合格者

出身大学別の合格者数では、昨年度同様、東京大学、京都大学に次ぐ3位でした。

	大学名	合格者
1	東京大学	428
2	京都大学	157
3	早稲田大学	71
4	東北大学	61
5	慶應義塾大学	58

●2010新司法試験合格者

今年の受験者数は過去最多の8,163人。そのうち合格者は男性1,482人、女性592人でした。合格者の平均年齢は約29歳で最年長は66歳、最年少は24歳。合格率は25.4%。未修者コースを経た合格者は、全体の1割強の248人でした。

	大学名	合格者
1	東京大学	201
2	中央大学	189
3	慶應義塾大学	179
4	京都大学	135
5	早稲田大学	130



※()内は合格率

本学では、新司法試験導入の狙いどおり多彩な学生を受け入れた3年標準課程に力を入れてきましたが、2010年度以降は2年短縮課程にも力を入れて合格者数トップを目指しています。

大学名	3年標準課程合格者	受験者	2年短縮課程合格者	受験者
早稲田大学	125(32.4%)	386	5(45.5%)	11
東京大学	40(29.6%)	135	161(58.3%)	276
京都大学	16(19.0%)	84	119(61.7%)	193
慶應義塾大学	44(39.3%)	112	135(55.6%)	243
中央大学	34(26.0%)	131	155(50.3%)	308

●2009 公認会計士試験合格者

受験者数は20,443人、そのうち合格者は2,229人(対前年比1,396人(38.5%)減、合格率10.5%、男性1,827人、女性402人。出身大学別の合格者数では、慶應義塾大学について2位でした。(公認会計士稲門会調べ)

	大学名	合格者
1	慶應義塾大学	258
2	早稲田大学	247
3	中央大学	159
4	東京大学	84
5	明治大学	72

年会費振込みのお願い

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃 稲門会活動にご協力下さり厚くお礼申し上げます。さて、当会では、年会費として、3千円をお預りし、会の運営に当たらせていただいております。つきましては20年度 年会費お忘れの方は右記にお振込下さいませ、お願い致します。 敬具

記

年会費振込口座

埼玉りそな銀行 浦和中央支店
普通 1713087 浦和稲門会

お問合せ先 浦和稲門会事務局 金子 迄
TEL&FAX 048-861-3445